

保全ニュース 九州

第47号 (2015年1月)

【TOPICS】

- P1 公共建築物の「インフラ長寿命化計画」に関する地方公共団体向け説明会を開催しました!!
- P2 「初めての保全業務、何をすればいいの？」
～施設管理者の皆さん、こんな経験ありませんか?～
- P3 建物の不具合をなくしましょう!!
(その20 建物内の障害物)
- P3 冬季の電力需給対策について

■公共建築物の「インフラ長寿命化計画」に関する 地方公共団体向け説明会を開催しました!!

昨年11月19日(水)、九州地方の各県、政令指定都市等における担当職員の皆様を対象に、公共建築物の「インフラ長寿命化計画」に関する説明会を開催しました。

説明会では、4県・5市等の担当職員44名の方に参加いただき、今後、各地方公共団体が「公共施設等総合管理計画」(以下、「総合管理計画」)を策定するに当たり(次頁参照)、少しでもお役に立てればとの趣旨で、必要と思われる情報の提供、交換を行いました。

以下、説明会で扱った主な議題を紹介します。

1. 国土交通省のインフラ長寿命化計画(行動計画)について

昨年5月に策定された国土交通省の行動計画のうち、官庁施設分野に関する内容について、実際、策定に関わった本省担当官が概要を説明しました。

長寿命化に資する取組として地方公共団体にも参照いただけるよう、官庁施設の保全に関する特徴や具体的取組状況を紹介しました。



国土交通省のインフラ長寿命化計画
(行動計画) について説明

2. 国の庁舎における「個別施設計画」の作成事例について

国や地方公共団体で個別の施設毎に策定する「個別施設計画」(次頁参照)のうち、官庁施設における「個別施設計画」の作成事例を紹介しました。

具体的には、国の庁舎の「個別施設計画」として構成される「中長期保全計画」と「保全台帳(点検記録、修繕履歴等)」の実例、ひな型を示しています。

3. 「総合管理計画」に関する情報交換

国からは、「総合管理計画」の策定・実施の参考となる資料集(現在検討中)の概要を報告しました。

地方公共団体からは、「総合管理計画」に関する全庁的な取組体制、公共建築物の維持管理・修繕・更新、長寿命化の推進について、先進的な取組事例を紹介いただきました。



地方公共団体から先進的な
取組事例を紹介

説明会終了後、参加者の方から、「『総合管理計画』と国の行動計画の違いが分かった」「国や他の県・市から、具体事例の話が聞けて良かった」「参考に取組んでいきたい」などのコメントいただきました。

この説明会に留まらず、今後も「公共建築相談窓口」*などを通じて可能な限り、公共建築物のインフラ長寿命化に向けた取組について、地方公共団体の皆様のお役に立てればと考えています。

*九州地方整備局の窓口は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-tatemono/soudan/>

■建物の不具合をなくしましょう!! (その20 建物内の障害物)

建物内には、利用者の安全や健康の確保のため、様々な機器が設置されています。今回は、身近なOA機器や家具、備品、荷物などが「障害物」となり、建物の機能に支障を来している事例を紹介します。

もしこのような事例があれば、機器の近くに「障害物」を置かないようにお願いします。

サーモスタットの近くにコピー機が置かれると...



サーモスタットとは、その周りの室温を感知することで、空調機器の温度管理を行うためのものです。

近くに「発熱するもの」(コピー機、電気ポットなど)が置かれると、その発熱でサーモスタットが、「室温が高い」と誤感知し、冷房が効きすぎたり、暖房がストップするおそれがあります。

屋内消火栓の扉の前に机が置かれると...



屋内にある消火栓の扉の中には、火災の初期消火に必要な放水用のホースが入っています。

日頃、扉の前にこの机のような「障害物」が置かれると、火災時に扉を開ける際、扉が開かなかつたり、消火活動に支障が生じるおそれがあります。

レタンガラルの前に段ボール箱が置かれると...



レタン(return)ガラルとは、室内の空気を空調機へ還すための吸込口です。

この前に段ボール箱などの「障害物」が置かれると、吸込口をふさぐことで空気が十分に還らなくなり、冷暖房の運転効率の低下、エネルギーの浪費につながります。

排煙オペレーターはどこに？

排煙オペレーターとは、火災時に排煙窓を開けて、室内に生じた煙を外へ出すために操作するためのものです。

例



この施設では、上部に排煙窓がある窓沿いに掲示板やパンフレットスタンドが置かれ、排煙窓の近くにあるはずの排煙オペレーターが見つかりません。



掲示板を移動させると、窓枠に排煙オペレーターが見つかりました。火災時に排煙オペレーターをすぐ見つけ、操作できるようにするため、日頃から見通しを確保しましょう。

■冬季の電力需給対策について

昨年10月31日(金)、政府の「電力需給に関する検討会合」において、「2014年度冬季の電力需給対策」が決定されました。詳しくは、経済産業省のホームページをご覧ください。

<http://www.meti.go.jp/setsuden/index.html>

※オフィスビルの管理者向け節電メニューも載っています。

事務局
九州地方整備局営繕部 調整課 保全企画係
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7
TEL 092-476-3537
FAX 092-476-3486
Eメールアドレス tatemono-hozen@qsr.mlit.go.jp

保全指導・監督室 保全指導係 TEL 092-476-3539
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7
熊本営繕事務所 技術課 TEL 096-355-6122
〒860-0047 熊本市西区春日2-10-1
鹿児島営繕事務所 技術課 TEL 099-222-5188
〒892-0816 鹿児島市山下町13-21